

# 安心して快適に 暮らせるまちを目指して

二十六万七千人以上が暮らす北区では、誰もが安心して快適に暮らせる住みよいまちを目指して、さまざまな事業が展開されています。今年度、区内で展開される主な事業をご紹介します。



▲来年4月に開校予定の(仮称)屯田北地区小学校(上)と(仮称)屯田北地区中学校の完成予想図

## 小学校と中学校の新設

住宅地として発展を続けている屯田北地区。児童・生徒数の増加に対応して屯田九条三丁目(仮称)屯田北地区小学校を、屯田九条四丁目(仮称)屯田北地区中学校を建設します。両校の校舎内には、車いす利用者にも対応したエレベーターやトイレを設置し、バリアフリー化を進めます。また、エネルギー消費量を減らすため、市内の小・中学校で初めて窓に断熱サッシを使用します。さらに小学校には、太陽光発電装置も設置します。両校とも来年四月に開校予定です。

## 保育所・福祉施設

市では待機児童解消のため、認可保育所の整備に取り組んでいます。区内では、来年四月に拓北三条二丁目(仮称)拓北保育園が開設される予定です。また、保護者の就労形態の多様化などに対応するため、延長保育事業を拡大します。さらに、保護者の短時間就労や冠婚葬祭、通院・入院などの場合に一時的な保育サービスの提供を行う私立認可保育所を増やし、子育て中の家庭に便利な環境作りを進めます。

また、屯田九条三丁目には特別

養護老人ホーム(仮称)清明庵が今年十一月に開設される予定です。さらに、新琴似地区と篠路地区では、来年五月の開設を目指して介護老人保健施設の建設が始まります。

## 公共下水道事業

快適な生活環境創出のため、東茨戸地区、篠路北地区、福移地区などに公共下水道を整備します。



▲下水道工事の様子

## 道路・街路事業

すべての人がより安全で円滑に移動できるようにするため、麻生地区では歩道段差解消などのバリアフリー化に引き続き取り組みます。また、冬の快適な都市環境づくりのため、新琴似六番通では流雪溝設置の準備を進めます。さらに、都市災害の防止、景観の向上、